

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	花いっぱい運動推進協議会補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	030200 - 023	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	01 快適な居住環境の形成		
	■施策	03 緑のまちづくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市民の環境美化意識の向上を図るための市民運動を支援する。花いっぱい運動推進協議会が行う花いっぱい運動の継承及び環境美化意識の向上を図るなど、市民運動を積極的に推進するため実施する事業に対する事業費補助金			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	花いっぱい運動推進協議会補助金	協議会→市民	花種子・苗配布、花苗育成研修会(3回セットを3地区で開催)、花づくり講習会(2回セットを市民交流プラザで開催)、しらゆり植栽、植栽地草刈り、花いっぱいコンクール、コンクール入賞花壇見学会、花いっぱい市民集会、パンジー植栽	①会議の開催 総会 1回 役員会 9回 ②講習会の開催 市民交流プラザ 5回 飯豊地区、江釣子地区 各3回 延べ 110名の参加 ③花苗の配布団体 160,000本 ④花いっぱいコンクール 地域部門 33団体 職場部門 15団体 学校部門 20団体 ⑤市民集会 参加者 151名 コンクールの表彰 事例発表 丸片機水(株) 講演 岩手県立農業大学校 教授 小川 勝弘氏 「魅力ある花壇づくり」

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	6,001	6,001	6,003	6,001	
人件費	538	223	1,352	458	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,539	6,224	7,355	6,459	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	花種子・花苗配布団体数	215団体	222団体	219団体	221団体	地域花壇に植栽する花種子・花苗を希望する団体数222団体
02	協議会主催事業数及び花いっぱいコンクール参加団体	74団体	67団体	78団体	68団体	北上市花いっぱいコンクール参加団体数67団体(地域33、学校18、職場10、ファミリー6)
03	花種子・花苗配布団体数	215団体	222団体			

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

配布団体の増加があり、市民の花いっぱい運動の意識が上がっている

問題点・課題等

花苗代金が補助額の83%を占める

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

花苗購入金額が補助金の83%を占め、今後は花苗配布のあり方の検証が必要である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了